



南予地域、鬼北町の郷土料理

- ◆いもたき
- ◆アユのあめ炊き
- ◆じゃこ天
- ◆さつま汁
- ◆かんころ餅

資料：えひめの郷土料理百選
第3次食育推進計画

郷土料理や行事の食事を食卓に取り入れましょう

鬼北町の豊かな食文化は、地域の伝統行事、風習等により受け継がれてきましたが、食生活の洋風化等により、長年培われてきた郷土料理などの食文化は若い世代に受け継がれていないのが現状です。これらの郷土料理の食材や調理技術を次世代に継承していく必要があります。そこで、現状を知るためにさまざまな年代の方にインタビューをしました。その町民の皆さんの声の一部を下記に掲載しています。



郷土料理の伝承のために どんな料理を伝えていきたいですか？

- | | |
|--------|-----------|
| ◆あんこ | ◆漬物 |
| ◆まんじゅう | ◆干し大根 |
| ◆団子 | ◆山菜(加工方法) |
| ◆炭酸餅 | ◆ひがしやま |
| ◆しば餅 | ◆とろろ汁 |
| ◆ひな豆 | ◆さつま汁 |
| ◆杵つき餅 | ◆ジビエ料理 |
| ◆こんにゃく | ◆鯛そうめん |
| ◆栗ごはん | ◆おこわ |
| | ◆ゆねり |



健康増進計画策定委員



生活研究協議会会員

郷土料理の伝承について思うこと、 伝承するためにしたらよいと思うことは何ですか？

- ◆こういったことは50代以下の便利さに慣れた世代には伝承されていないと思う。
- ◆今伝承しておくべき！高齢者を使ってほしい。
- ◆教室や集まりを開いて、地元の人に料理を教えてもらいたい。
- ◆老人クラブと中高生との連携。
- ◆年を取った者が孫に作ってあげる機会をつくる。
- ◆食生活改善推進協議会で研修する。



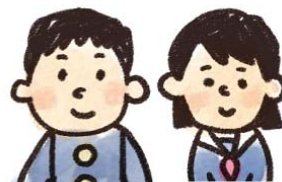
料理教室参加者

次号(8月号)では、基本方針にそって食育推進の施策について、具体的に掲載します。



郷土料理の伝承のために どんなことをしたらいいですか？

- ◆大人が子どもに教えたり、郷土料理を気軽に楽しめたり、触れ合えたりできる会を開く。
- ◆学校給食で郷土料理を出す。
- ◆ネットに出して広げる。
- ◆郷土料理を作る会をする。



中高生